

## 「初めてでもできる 社会調査・アンケート調査とデータ解析」

### 追 加 情 報

本書に下記の情報を追加いたします。

頁	コ ラ ム
116	<p style="text-align: center;"><b><u>実査の前に考えよう</u></b></p> <p><b>実査に先だって明確にすべきこと</b></p> <p>実際にアンケート調査を実施するにあたっては、まずテーマを設定し、何を対象として、どのような目的で調査をするのか、そして調査結果をどのように利用するのかについて、明確にしておくことが求められます。アンケート調査は、単にデータを収集して集計するだけのものではないからです。</p> <p><b>仮説はどのような役割をもつのか</b></p> <p>たとえば、「若者は本を読まない」という問題意識があったとしましょう。これを一般的な命題として書き直すと、単に若者が本を読むか読まないかということではなく、「年齢によって本の読み方が異なる」ということになります。これを仮説とすると、この仮説を検証するためにどのようなデータが必要なのかを考え、質問項目を決めていくことになります。調査の目的を明確にして、そこから仮説を設定し、アンケート用紙を作成すれば、適切な調査をおこなうための効率よい設計をすることができます。</p>
146	<p style="text-align: center;"><b><u>結論に導くためのデータ解析</u></b></p> <p>データ解析は難しい数式や統計的な計算を使用し、抽象的な数字で結論を示したりするので、理論的で客観的だと思われています。また、多くの場合、パソコンを使ってデータを解析するので、正確で正しい結果が得られると思われがちです。たしかに、データ解析のための高性能なソフトウェアが市販され、操作もそれほど難しくありません。そういったソフトを立ち上げてデータを入力すれば、直ちに分析結果が画面に示され印刷もできます。しかし、こうした分析結果を示し要約することが調査の目的ではありません。これは、制約されたデータの収集や処理から生み出された分析結果にすぎないのです。データ解析は、「解釈」を助けるためのデータ加工作業であり、分析結果に「解釈」を加えて提示することまでが、アンケート調査の範囲になります。</p>